

平成 16 年 度

決 算 報 告 書

【第 1 期】

自 平成 16 年 4 月 1 日

至 平成 17 年 3 月 31 日

国立大学法人 お茶の水女子大学

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学法人

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	4,665	4,665	0	
施設整備費補助金	26	28	2	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
自己収入	1,983	1,889	94	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,926	1,817	109	(注2)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	57	72	15	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	209	885	676	(注4)
長期借入金収入	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	6,883	7,467	584	
支 出				
業務費	6,648	6,314	334	
教育研究経費	5,547	5,332	215	(注5)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	1,101	982	119	(注6)
施設整備費	26	28	2	(注7)
船舶建造費	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	209	409	200	(注8)
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
計	6,883	6,751	132	
収入 - 支出	0	716	716	

予算と決算の差異について

- (注1)補正予算措置により予算額に比して決算額が2百万円増額となった。
- (注2)授業料及び入学金及び検定料について、予算額に比して決算額が110百万円減額となった。
- (注3)承継剰余金の受入に伴い予算額に比して決算額が15百万円増額となった。
- (注4)寄付金の承継額が368百万円で、創立130周年記念徽音堂改修基金として108百万円、国等からの共同研究等の受入れが、予算額に比して決算額が200百万円増額となった。
- (注5)教育研究経費については、入札結果及び随意契約(見積合せ)に基づく契約額が35百万円減額、人件費の削減等により予算額に比して決算額が180百万円減額となった。
- (注6)一般管理費については、職員人件費の削減により予算額に比して決算額が46百万円減額となった。また、光熱水料等の一部を産学連携等研究費などの経費での支出に変えたことにより、予算額に比して74百万円の減額となった。
- (注7)注2に示した理由により予算額に比して2百万円決算額が増額となった。
- (注8)注4に示した理由により予算額に比して200百万円決算額が増額となった。